

鮫川村教育大綱

健やかな人をみんなで育む村づくり

地域ぐるみで子育てに取り組み、安心して子供を産み育てられる環境の創出を追求するとともに、子供たちが新しい学びを通して、未来を生き抜く力を育み、村民みんなが生涯を通じて学び続け、日常生活の中でスポーツや芸術文化にたしむ機会を持ち、健やかな心と体を育む村づくり

「めざす人間像」

- 1 「いのち」を大切にする人
- 2 夢や希望をもって学び続ける人
- 3 困難を乗り越え、自ら人生を切り拓く人
- 4 健やかな体を育む人
- 5 スポーツ・文化・芸術に親しむ人
- 6 つながり大切に、思いやりのある人
- 7 自然を愛し、ふるさとを愛する人

学校経営のテーマ

- 「教育は人なり」「教育は愛なり」
- 「心を込める」【心を耕す】
- 「ほめる」【自己肯定感の向上】

心を込めて他者と関わり、自分のよさを実感しながら目標に向かって学び続ける（児童・教師）



令和7年度 鮫川小学校 学校経営・運営ビジョン

教育目標

心身ともに健康で 豊かな人間性と創造性に富み
たくましい実践力のある児童の育成

かしこく（知）やさしく（徳）たくましく（体）子ども

令和7年度 目指す児童像と重点目標

- 目標を持ってすすんで学び、工夫してやり遂げる児童
- 「心を込めて」言葉と行動で他と関わる児童
- 自他の健康・安全を意識し、考え実行する児童

パワーワード 児童「心を込める」 教師「ほめて伸ばす」

児童：心を込めて考え、実行する 教師：意欲を引き出す言葉かけ

具体的な取組・目標

「かしこく」 確かな学力を育む

重点目標

【児童主体の学びを支える教師の役割を自覚し、わかる・できる喜びを実感できる授業を推進する】
～画一的な教師主導の授業からの脱却～

①主体的な学びの実現 ～自ら学ぶ～

【変わる教師】

- 教師の役割を自覚した日々の授業改善
- 個別最適な学びと協働的な学びの意識化
- 児童の興味・関心を引き出す単元・授業構想の工夫
- 互見授業による指導力の向上
- 外部講師の招聘

②深い学びの実現 ～考える・判断する・表現する～

- 伝え合い、聴き合い、自己を深める学習の充実
- ICTを効果的に活用した授業の充実
- 自分の考えを説明したり記述したりする活動の充実

③確かな学びの実現 ～わかる・できる～

- 朝の時間の有効活用（学力向上の時間・読書タイム）
- 家庭学習の工夫と習慣化
- 個の伸びに着目した指導の充実（ふくしま学力調査等）
- 習熟度による個に応じた指導の充実（パワーアップタイム）

④幼小中の連携・授業交流会の実施（つなぐ教育プラン）

- 園小交流活動の実施
- 相互乗り入れ授業の実施

「やさしく」 豊かな心を育む

重点目標

【体験、交流、実践を通して、他を思いやる心・粘り強さ・自己肯定感を育成する】
～「心」の教育の充実を通して非認知能力の向上～

①道徳教育を要とした心の教育の充実

- 「考え、議論する」道徳の授業の充実
- 自己を見つめる振り返りの充実
- 思考ツールの活用と評価の工夫

②「心を込める」の実践を通じた心の教育の充実

- 「自ら先に」をモットーとした「心を込めた」あいさつの実践
- 場と相手に応じた正しい言葉遣いの指導
- 個や集団のよさを認め合う場の設定
- QUテストを活かした児童理解と学級集団づくり
- 不登校・いじめ防止に向けたケース会議の開催
- 相談体制の充実（SCとの連携、個別面談等）

③豊かな体験活動を通じたふるさとキャリア教育の充実

- 地域人材・教材活用と地域での学習活動
（さめがわ学：コーディネーターとの連携 「いのち」の教育：住民福祉課との連携）
- SDG s 教育の推進

④すべての子どもたちの可能性や個性を伸ばす教育の推進

- インクルーシブ教育の推進と特別支援教育の充実
- 一人一人のニーズに応じた多様な学びの場の保障
- 異学年集団での人間関係づくり（縦割り清掃、なかよし遠足等）

目指す学校像

- 1 笑顔にあふれ、学ぶことの喜びを実感できる学校
- 2 安心・安全で、明日も行きたいと思える学校
- 3 保護者・地域とともにあり、連携を大切にする学校
- 4 子どもファーストで、児童一人一人を大切にする学校

目指す教師像

- 1 仕事に誇りを持ち、学び続ける教師
- 2 向上心と謙虚さを持ち、熱い情熱を備えた教師
- 3 地域、保護者と協力・連携する教師
- 4 一人一人を大切に、子どもに寄り添える教師
- 5 カンセリングマインドを持ち望ましい人間関係をつくる教師
- 6 事故・不祥事防止に取り組み、信頼される教師

開かれた学校づくり

- 1 地域と共にある学校を目指します
□ポータルサイトでの発信 □学校だよりの発行
□地域人材の活用（村コーディネーターとの連携）
- 2 保護者の声、地域を学校経営に生かします
□学校評価の実施と活用 □学校運営協議会の活用

「たくましく」 健やかな体を育む

重点目標

【健康マネジメント能力を高め、健康的な生活習慣を確立させる】
～自己の「振り返り」の重視～

①体力向上・推進に向けた取組

- 運動身体づくりプログラムの継続実施
- 体力テストの分析と対策
- 見通し、学び合い、振り返りを大切にした体育科の授業改善
- ぐんぐんタイムの実施と外遊びの推奨

②健康マネジメント能力の育成

- 健康課題の重点化と自己の生活を振り返る保健指導の充実（特に「メンタルコントロール」の重視）
- 生活習慣の指導の充実（特に「肥満指導」の重視）
- 関係機関との連携（食指導、性指導、歯科指導等）
- 自分手帳の活用

③命を守る教育の推進と危機管理能力の育成

- 命の安全教育、SOSの出し方に関する教育の実施
- 安全教育の充実（実践的避難訓練、交通教室、防犯教室、引き渡し訓練等）
- 情報モラルの指導の充実